

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2020年3月発行

子どもたちをネットDVの被害者にも加害者にもさせないために 男女平等教育指導者養成講座

募集中

ジェンダーの視点を学び、子どもたちに「ありのままの自分や他者」を受容・表現することを伝えるとともに多様な生き方を尊重できる力を育むためのお手伝いをしていただける方を養成する講座です。

- ◆対象：市内に在住、通勤、通学している人で、3日間とも受講でき、来年度から出前講座の講師として活動していただける方
- ◆時間：3月17日（火）～19日（木）午前9時30分～午後4時30分
- ◆場所：本町プラザ3階 はもりあ四日市会議室（四日市市本町9-8）
- ◆講師：戎 多麻枝さん（NPO法人SEAN教育部門「G-Free」代表）ほか
- ◆定員：15人（先着順） ◆料金：無料
- ◆その他：無料託児あり（生後6ヵ月～未就学児程度、3月6日（金）までに要申込み）
- ◆申込・問合せ：住所・氏名・電話番号・託児の有無（有の場合は子どもの名前と年齢）を、電話かFAXまたはメールで「はもりあ四日市」へお申込みください。

お知らせ

「情報紙はもりあ」が、来年度から生まれ変わります！

2008年7月に「情報紙はもりあ」1号が発行されてから今月で140号を迎えます。これまで以上に「男女共同参画」及び「はもりあ四日市」を知っていただけるよう、記事の内容を一新し、令和2年度からフルカラーで生まれ変わります。これからも変わらずご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。



3月のイベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14 働く女性、働きたい女性のための就労相談
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25 働く女性、働きたい女性のための就労相談	26	27	28 男性電話相談
29	30	31				

「K子ばあばの暮らしのヒント」～生活智恵子の衣食住～

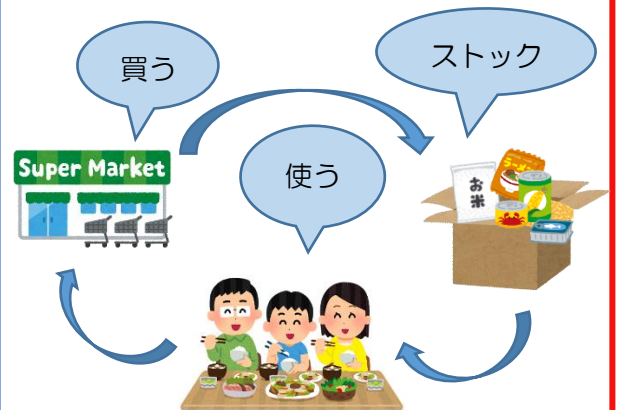
◆その3 住の巻、災害時の備蓄について おっくうに考えていませんか？

備蓄の三種の神器＝「水」「食料」「トイレ」

その中の「食料」の備蓄は特別備蓄ではなく⇒ 家庭内流通備蓄です

家庭内流通備蓄とは食べながら備える！！

特別に備蓄品を購入すれば経済的にも負担がかかり、また、災害はいつ来るかわからないことから、備えていた食料が消費期限切れになることも考えられます。特別に食料を備蓄するのではなく、普段スーパーで購入する食品を1品多く(例：即席めんなら1袋余分に買う)、これをダンボール箱に入れてを備蓄箱にする。景品のタオルも、ティッシュも一緒にいれておくと負担をかけずにたまっていきます。特別に備蓄しなくても備えられます。



男女
共同

さんかく eye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

～だから、男と女はすれ違う！？～

「どうして女はあんなのか」「なぜ男はわからないのかしら」と思うことはありませんか。男女の心のすれ違いを扱った映画や小説がいかにも多いことか。

ある脳科学の研究では、男と女の脳の仕組みが違うといえます。脳梁という右脳と左脳をつなぐ神経細胞の束が女性脳の方が太いため、右脳と左脳の連携度が高く、女性は男性より観察力やコミュニケーション能力が高いという。『妻のトリセツ』（黒川伊保子編著）がベストセラーになりましたが、ここでも脳梁の差により、「妻がいきなり切れる」「突然10年前のことを蒸し返す」など、夫が理解できない妻の言動を脳の性差と結びつけ、「夫はこういう対処をすべし」としています。

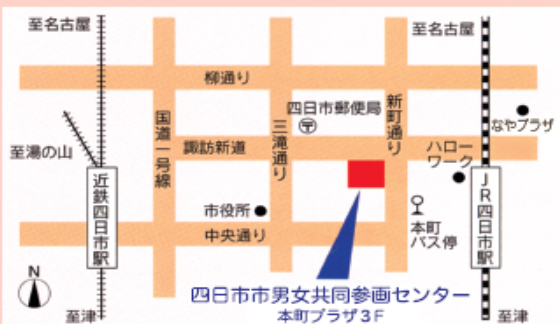
ところが、男女の脳の機能差について、その科学的根拠は薄いとされる学者は多い。経済協力開発機構（OECD）の報告書もしかり、日本神経科学学会の研究倫理指針も、このような神経神話が脳科学の信頼を失わせる危険があるとしています。つまり男女のすれ違いに悩むのであれば、上手にコミュニケーションをとるとということでしょうか。

【お互いに寛容も必要かと思っているH】

○●◎あとかき◎●○

「光陰矢の如し」という言葉がありますが、この時期になると、1年があっという間に過ぎると実感します。子どもの頃、長く感じていた時が、歳を重ねるごとに早く経つように感じます。これは、知らないことの多い子どもは、新しい発見や未知の経験に出会うことが多くありますが、大人になると新鮮味のあるものに接する機会が少なくなり、慣れによっても早く感じるからだそうです。また、同じことを繰り返す頻度も多くなり、さらに時間の経過が早くなることもあるようです。「時は金なり」とも言いますが、いかに時間を有効活用して、人生を自分らしく生きるか、トキメキの時を過ごすか、改めて考えたいですね。

月刊「はもりあ」のご愛読ありがとうございました。リニューアルした「はもりあ」も、ご覧いただければ幸いです。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml

